

できること、衛生携帯も役場と消防本部にあること、アマチュア無線との連携をとるなど、現時点ではできる限りの手を尽くしていると判断しています。

確かに現実的に全職員の参集というのは困難だと思いますので、出て来れる人での対応になると思います。海部病院用地造成工事、牟岐バイパス整備工事などの残土処分場を災害時活用できないか、今後検討します。

**仁田総務課長**

今回の地震については、的確に対応できていたと思っておりますが、今後、自主防災組織や関係機関との意見を伺いながら、これからの対策に活かしていきます。庁舎機能の問題があり、地面の液化化により建物が傾き、最悪の場合は倒壊も懸念されます。仮に建物が無事であっても停電や電話の不通、断水、情報端末機器の故障等庁舎機能が維持できない可能性が高く、代替庁舎に災害本部を設置す

ることが必要ですので、早急に検討します。

62箇所のうち33箇所に備蓄倉庫を設置していますが、自主防災組織と協議し、できるだけ多く設置し、簡易トイレやテントなどを準備したいと考えています。

**危険な飛行中止を  
求める声を大きく**

**藤元議員**

危険な米軍戦闘機の低空



低空飛行する米軍戦闘機(内妻上空)

飛行が続いていますが、本年1月10日、24日に私が撮影した写真をもとに実態調査を行いました。デジカメに写った画像から比率で距離を求め、撮影位置・角度から飛行高度を推定するもので、調査の結果、我が家裏の山頂から179mの高さで飛行しており、日本の航空法、日米合意さえ守られていないことが明らかになりました。時速800kmを超える速さで低空を飛び、もし、墜落するようなことがあれば、

どのような事態になるのか容易に想像できません。実際、20年前に高知県の早明浦ダムに墜落しましたが、一歩間違えば大惨事になるところでした。

相手がアメリカであり、それを許しているのが日本政府ですから、簡単ではありませんが、事故が起きてからでは取り返しがつきません、何らかの行動を起すべきではありませんか。

**福井町長**

現在、藤元議員提出の資料と各町が収集した飛行デ

ータなどをもとに、要望先の選択と要望内容など今後の対応について、郡町村会において検討中ですので、具体的方針がまとまり次第、しかるべき所に抗議、あるいは、要望を行いたいと考えています。

**仁田総務課長**

牟岐町が昨年3月12日に県から騒音測定器の貸与を受け1年になります。この間41回の飛行があり、騒音レベルが一番大きかったのは93・4デシベルでした。

**千年サンゴの日の制定は**

**横尾 政明 議員**

6月議会でも提案しましたが、検討もされていないという印象を受けました。何が問題なのでしょう。千年サンゴの日の制定しましたと宣言するだけでいいのではないか。この3月の期間中、牟岐・出羽島ア

ート展2015のイベントが開催されており、多くの人が牟岐町にきます。3月5日が千年サンゴの日に制定されて、このイベントとコラボができていけば、広く周知ができ、サポーターの募集ができたと思うと残